

みんなで楽しむ大合奏

# プラス・ジャンボリー<sup>TM</sup> 2010

2010 2.20 SAT 大さん橋ホール

## Program

13:00 リハーサル開始

ラデッキー行進曲

海の歌

ウェールズの歌

休憩

インスタント・コンサート

ラバース・コンチェルト

サウンド・オブ・ミュージック

宝島

15:40 リハーサル終了

16:15 コンサート開演

ラデッキー行進曲

海の歌

ウェールズの歌

休憩

インスタント・コンサート

ラバース・コンチェルト

サウンド・オブ・ミュージック

宝島

17:45 コンサート終了予定

合奏指導・指揮

曾我 大介

合奏指導・指揮  
& ナビゲーター

織田 浩司

主催：「プラス・ジャンボリー 2010」実行委員会

共催：ヤマハ株式会社

後援：全国市民吹奏楽協議会 株式会社音楽之友社 ヤマハミュージックトレーディング株式会社

## プラス・ジャンボリーの為のファンファーレ

水口 透作曲

プラス・ジャンボリー2010を記念して、ザ・トランペットコンサートのメンバー・作編曲家の顔も持つトランペット奏者水口透氏が作曲。本邦初演、このファンファーレでプラス・ジャンボリーの幕が開きます！

## ラデッキー行進曲

ヨハン・シュトラウス1世 作曲 曾我大介 編曲

この曲はウィーンの作曲家、ヨハン・シュトラウス1世が、1848年に北イタリアの独立運動を鎮圧したヨーゼフ・ラデツキー将軍を称えて作曲しました。ウィーン・フィルハーモニー・オーケストラのニューイヤーコンサートではコンサートの最後を飾る曲として伝統的に演奏されています。本日の指揮者曾我大介氏のアレンジ版で演奏いたします。

## 海の歌

レックス・ミッチェル作曲

この「海の歌」は、アメリカの作曲家レックス・ミッチェルにより、1979年に出版された吹奏楽の名曲の一つです。海の情景を表わした、優美かつ力強さを併せ持つその曲想は、海からのインスピレーションを十分に表現しているといえるでしょう。現在でも多くの吹奏楽ファン・聴衆に愛されています。

## ウェールズの歌

アルバート・オリバー・デイヴィス作曲

作曲者のアルバート・オリバー・デイヴィスは、1920年アメリカ・オハイオ州に生まれ、オハイオ州立大バンドの編曲を多く手がけ、名曲を残しました。この「ウェールズの歌」は民謡の宝庫、イギリス・ウェールズ地方の民謡から6曲を選び組曲にしたもので、第1楽章「Land of My Fathers (我が父なる国 ウェールズ国歌) The Marsh of Rhuddlan」、第2楽章「Venture Gwen」、第3楽章「All The Day (フォーク・ダンス) Rising of the Lark Vale of Rhondda」という構成となっています。その美しく大らかに流れるような表情は、心の奥底に懐かしさや優しさを持つメロディとなり、長年愛されています。

本日は、第1楽章、第3楽章を演奏いたします。

## インスタント・コンサート

ハロルド・ワルターズ作曲

吹奏楽のフット・オン・クラシックといえはこの曲。シューベルトの「軍隊行進曲」を皮切りに、「新世界」「花のワルツ」「大きな古時計」「ケンタッキーの我が家」「美しき青きドナウ」など、クラシックのみならず世界中の愛唱歌まで、28曲が次から次へと繰り広げられます。

## ラバース・コンチェルト

サンデー・リンザー&デニー・ランドル 作曲

アメリカのソングライター「サンデー・リンザー&デニー・ランドル」のポップ曲。ヨハン・セバスチャン・バッハのメヌエットとして知られる可愛らしいメロディーが元であり、現在では多くのアーティストにより歌い演奏されています。今回の編曲は、日本を代表する作・編曲家である後藤洋氏の手により、さらにやさしく美しい吹奏楽曲となりました。

## サウンド・オブ・ミュージック

ロジャース&ハマースタイン2世 作曲 岩井直博 編曲

ミュージカルの中で最も有名で、世代を越えて愛されている名作の一つです。「ドレミの歌」や「一人ぼっちの羊飼い」、「エーデルワイス」その他、劇中で歌われる曲が、岩井直博氏の手により吹奏楽のロングセラーとなり、これまでもたくさん演奏されています。

## 宝島

和泉宏隆 作曲 真島俊夫 編曲

一世を風靡したフュージョン・グループ「T-SQUARE」のキーボード奏者・和泉宏隆氏作曲、真島俊夫氏編曲として吹奏楽界に大ヒットをもたらしたナンバーです。ノリの良いサンバ・フィーリングのアレンジにより、バンドと観客が一体となって楽しめる名曲です。

## プロフィール

### 曾我 大介 (そが だいすけ)

東京ニューシティ管弦楽団首席客演指揮者



桐朋学園大学、ウィーン音楽大学等において、ハイティンク、シノーポリ、ムーシン、ウーロシュ・ラーヨビッチ諸氏に学び、1989年ルーマニア国立音大を首席卒業。指揮者としてのキャリアは同音大在学中より、ルーマニアの国立オーケストラを指揮してデビュー。

コンドラシン・コンクール及びブザンソンコンクール第一位をはじめブラハの春、トスカニーニコンクール、ジュネーブコンクールなどで上位入賞、ルーマニア、イタリア、フランス、スイス、オランダ、ドイツ、チェコなどヨーロッパ各地のオーケストラや日本各地、アメリカ、中国、ブラジルなどのプロオーケストラにも客演を重ねている。ルーマニア国立放送管弦楽団の首席客演指揮者、大阪シンフォニー交響楽団の音楽監督を歴任、在任中日本で一番若い音楽監督としてのその活動は「関西音楽界に新風を吹き込んだ」となど高い評価を得る。近年では作曲家としての活動も盛んに行っており、今年にはルーマニア・プラスからの委嘱作が初演される予定である。

また、近年はベデロッチ国際指揮者コンクール(2006年イタリア・トレント)より審査員として招聘される他、ブラジル、ルーマニア、イタリア各地の講習会で教鞭を執るなど多方面で活躍中である。

### 織田 浩司 (おりた こうじ)

米米CLUB メンバー サクソフォン奏者



1990年に米米CLUB、BIG HORNS BEEのメンバーとなる。

以降、B.B.KING・Char・TUBE・中島美嘉・平井堅・米倉利紀・鈴木雅之等、国内外の数々のアーティストと共演。

日本を代表するホーンセクションのメンバー、そしてソロプレイヤーとしてライブに、レコーディングに活躍中。

2002年11月にソロアルバム「PIECES OF THE MOON」をリリース、2003年5月に単行本「いつもそばには猫とサクセス」を音楽之友社より発行。自他共に認める吹奏楽好きで知られ、日本各地の学校の吹奏楽部、指導者、吹奏楽団との親交を深めている。近年では各地の吹奏楽コンクールの審査員、コンサートの司会、吹奏楽イベントの音楽監督、CDのプロデュース、サクスクリニック、吹奏楽のポップスクリニック、マーチングバンド全国大会の司会など、将来ある若い吹奏楽団の育成を積極的に行っている。